



リウマチ性疾患薬学的管理指導患者名簿

患者番号	施設名 (処方箋発行機関)	性別	年代	診断名またはリウマチ性疾患治療薬の主たる調剤薬名	主な薬学的管理指導の内容 (画一的でなく、症例毎に個別的に記載)
1	リウマチ財団病院 整形外科	男 ・ ②	60 歳代	RA	初回処方である MTX 錠の用法指導と有害事象の説明、葉酸含有サプリメント使用の注意
2	ザイダン クリニック	男 ・ 女	30 歳代	リウマトレックス カプセル	前回調剤日数から直近の受診日が合わないため、服薬忘れ時の対応を指導
3	リウマチ財団病院 膠原病内科	男 ・ ②	40 歳代	RA	RA 確定診断により、MTX 導入後アダリムマブ皮下注 40mg シリンジへの移行となり、必要な検査の確認と、病態や薬剤の効能効果、副作用について指導
4	ザイダン クリニック	男 ・ 女	40 歳代	フェブリック錠	ザイロリック錠から切り替えのため、尿酸値の変動が起きる懸念があり発作・予感時の対応を指導
5	リウマチ財団病院 膠原病内科	男 ・ ②	20 歳代	SLE	プログラフカプセルが併用となり、薬物血中濃度管理と影響を与える薬剤との併用、グレープフルーツ摂取などの注意を指導
6	リウマチ小児科 医院	男 ・ 女	10 歳代	若年性特発性 関節炎	副腎皮質ステロイドが開始となり、母親から副作用について種々の懸念があり、それについて説明と指導
7	リウマチ財団病院 整形外科	男 ・ ②	40 歳代	線維筋痛症	リリカカプセルの有害事象とその対応、および車の運転を控えることを指導

8	リウマチ内科医院	男 ・ ②	50 歳代	サラジエン錠	当該薬剤による動悸、発汗など頻度の高い有害事象の説明と発現時の対応を指導
9	リウマチ内科医院	男 ・ ②	60 歳代	アクテムラ皮下注 162mg オートイン ジェクター	処方元医院の看護師に注射指導内容を確認し、感染症発症時に症状がマスクされることを説明、その対応
10	リウマチ財団病院 リウマチ外来	男 ・ 女	30 歳代	多発血管炎性肉芽腫症（ウェグナー肉芽腫症）	維持期としてエンドキサン錠を内服中のため、易感染性の説明と出血性膀胱炎予防のための多めの飲水を指導

申請者氏名 財団 薬太郎

※患者番号1～3については、関節リウマチまたは抗リウマチ薬の調剤薬を使用した症例を記入してください。

※同一施設内において、他の申請者と同一症例を担当した場合であっても、対象患者とすることは可能です。

ただし、その場合は、自身が担当した内容について個別性をもって記載してください。他の申請者と同一内容の記載は認められません。

※本申請に記載可能な略語は、次の通りです。下記以外の病名や薬物名の略語の使用はできませんので、下記以外の略語を使う場合は、初出箇所にfull spellingと略語を記載し、以降は略語で記載して頂いて結構です。

（例：治療薬としてはMTXにトファシチニブ(TOF)を追加した。TOF併用により・・・・）

【病名】

OA：変形性関節症 (osteoarthritis)

PMR：リウマチ性多発筋痛症 (polymyalgia rheumatica)

RA：関節リウマチ (rheumatoid arthritis)

SLE：全身性エリテマトーデス (systemic lupus erythematosus)

【薬物名】「日本リウマチ学会リウマチ学用語・WEB検索」(<https://www.ryumachi-jp.com/yougo/search.php>) 参照

・副腎皮質ステロイド (グルココルチコイド)

PSL：プレドニゾロン

・従来型抗リウマチ薬 (csDMARDs)

BUC：ブシラミン

IGU：イグラチモド

LEF：レフルノミド

MTX：メトトレキサート

MTX SC：メトトレキサート皮下注射

SASP：サラズスルファピリジン

TAC：タクロリムス

・JAK阻害薬

BAR：バリシチニブ

FIL：フィルゴチニブ

PEF：ペフィシチニブ

TOF：トファシチニブ

UPA：ウパダシチニブ

・生物学的製剤 (bDMARDs)

ABT：アバタセプト

ADA：アダリムマブ

CZP：セルトリズマブ ペゴル

ETN：エタネルセプト

GLM：ゴリムマブ

IFX：インフリキシマブ

OZR：オザラリズマブ

SAR：サリルマブ

TCZ：トリズマブ

・バイオシミラー (BS)

ADA BS：アダリムマブバイオシミラー

ETN BS：エタネルセプトバイオシミラー

IFX BS：インフリキシマブバイオシミラー